

株式会社錦水館

広島県廿日市



生産性向上

需要獲得

担い手確保

ものづくり

サービス

ポイント

スローガンは「感謝の心で、ワクワクを創造し、宮島を笑顔の楽園にする仲間たち」

- 地産地消にこだわった食事や高品質なおもてなしで、宮島や広島の魅力を発信し、来客を魅了
- グループ全体でのマルチタスク化により、従業員の能力向上や生産性向上、高品質なサービスを実現
- 経営の見える化や従業員満足度向上により、ずっと働きたい会社を目指す

企業基本情報

所在地	広島県廿日市市宮島町 1133
電話/FAX	0829-44-2131/0829-44-2137
URL	http://www.kinsuikan.jp/
代表者	代表取締役 武内 恒則
設立	1912年
資本金	1,000万円
従業員数	100人



会社概要

世界遺産である宮島にある老舗旅館。創業は1912年。

地元の契約農家50軒から届く有機野菜を使うなどの地産地消にこだわった食事（地産地消率約80%）や、高品質なおもてなしにより、宮島や広島の魅力を発信し、国内外からの来客を魅了している。

インバウンドなどの新たな顧客層に訴求するため、「大人のための宮島の我が家」というコンセプトで、「ホテル宮島別荘」をリニューアルオープンした。



旅館外観

革新的な製品開発や創造的なサービスの提供に関する取組の内容

宮島や広島の魅力を発信し、国内外からの来客を魅了

地元広島の契約農家約50軒から届く有機栽培された新鮮、安心、安全な食材を使った地産地消の食事にこだわっており、来客からの評価が高い（地産地消率は約80%）。その土地の食材の良さに着目し、土地の食材に合った料理を提供し続けるイタリアンシェフ、奥田政行氏とプロデュース契約を結び、宮島の新たな観光の魅力として、宮島の食の発信を行っている。2017年9月にホテル宮島別荘をリニューアルオープン。インバウンド需要の取り込みを図っている。



地元宮島の契約農家

ホテル宮島別荘の新しい運営スタイル「マルチタスクの導入」

ホテル宮島別荘では、新しい運営スタイル「マルチタスク」を導入。

旅館業は中抜け勤務や長時間労働が課題となっているが、マルチタスクは、ひとりのスタッフが複数の仕事をこなすことで、通しの仕事で中抜け勤務をなくし、仕事の生産性の向上を目指している。そのために、バックヤードの作業スペースの配置場所、備品の位置を改善。また、作業項目ごとの目標作業時間を計測。スタッフの複数業務をこなすためのプログラムを導入している。



マルチタスクのフロントの仕事

従業員満足度向上により、ずっと働きたい会社を目指す

ホテル宮島別荘のリニューアルオープンに際し、新卒生20名を新規採用。

旅館業であり、時期や曜日によって繁閑の差が大きくなるため、各社員が複数の役割（フロント、接客、清掃、配膳等）を担当できるよう、人材育成やローテーションを通じ、マルチタスク化を推進。マルチタスク化を進めることにより、従業員のスキルアップによる生産性向上、従業員満足度の向上、社員の採用や定着にも大きく寄与している。経営計画書を活用し、経営計画、年間スケジュールの見える化を実現した。



社員研修の風景